

平成 26 年 6 月 18 日

〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1  
参議院議員会館 609 号室  
宇宙開発担当大臣 山本一太殿

## 地球観測に関する緊急提言

「今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合・  
リモートセンシング分科会」コミュニティ幹事会

「今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合・リモートセンシング分科会 (TF)」コミュニティ (以下、「TF コミュニティ」) \*1では、5 回にわたる TF 会合の議論を踏まえ、災害、環境、食料、エネルギー、社会基盤管理等における広い意味での我が国の安全保障の確保および我が国が科学技術立国として今後も発展していくために必要となる地球観測衛星についてのロードマップの検討を進めているところです。

この作業と並行し、平成 30 年度以降に我が国としての地球観測衛星計画の空白時期を発生させないために、平成 27 年度の予算要求において我が国として優先的に対応すべき衛星計画について TF コミュニティ全体での議論に先立ち、幹事会において緊急提案としてとりまとめました。この緊急提言においては、平成 27 年度の政府予算については、①先進光学衛星のプロジェクト化、②次世代高性能マイクロ波ミッションの研究開発をご提案させていただきます。詳細については別紙 1 のとおりです。

なお、これらの提言の実現にあたって、研究から利用実証、さらには産業化までの社会実証に際しては、TF コミュニティにおいてワンストップで政府の行う活動を支援させていただくことが可能です。

\*1「今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合・リモートセンシング分科会」コミュニティ

ミッション：地球観測に関わる学問分野の断片化を防ぎ、その総合化をはかる  
地球観測と社会とのインターフェースを担い、実用化への道筋をつける  
官＋産＋学の協働により、問題解決ツールとして地球観測データ利用を推進する

代表幹事： 安岡善文

幹事： 中島映至、六川修一、中須賀真一、秋山演亮、岩崎晃

事務局： 日本リモートセンシング学会（渡辺、祖父江）

日本写真測量学会（本多、福田）

宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター（木村、金子）

参加団体： 日本リモートセンシング学会、日本写真測量学会、日本海洋学会、日本地球惑星科学連合、日本活断層学会、日本農業気象学会、日本気象学会、日本沙漠学会、日本情報地質学会、日本雪氷学会、日本測地学会、日本大気化学学会、日本地理学会、日本地震学会、計測自動制御学会、システム農学会、日本森林学会、水文・水資源学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、地理情報システム学会、地球観測データ利用ビジネスコミュニティ（BizEarth）

連携団体： 日本航空宇宙工業会

検討開始： 平成24年11月3日、 設立： 平成25年7月13日

開催状況： TF会合を5回開催（2012年12月、2013年3月、2013年5月、2013年7月、2014年3月）

なお、本TFコミュニティでは、我が国の地球観測の進め方について、コミュニティの視点でのロードマップの検討を行うとともに、参加団体のホームページ、メーリングリスト、機関紙などを通じて本緊急提言、活動内容などを広く公表し、国民のみなさまに情報発信させていただく所存です。

TFコミュニティ事務局 問合せ窓口：

一般社団法人 日本リモートセンシング学会事務局（学会支援機構内）

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4階

TEL：03-5981-9337/FAX：03-5981-6012